

平成30年8月28日

西日本豪雨

被災地派遣職員帰庁 市長に活動報告

8月24日、越谷市から西日本豪雨で被災した岡山県倉敷市と広島県呉市に派遣していた職員4人が市長に帰庁報告をしました。

越谷市では、この豪雨災害に関し、倉敷市に罹災証明発行のための住家被害認定事務に1人、避難所への物資運搬や広報業務支援のために交代で6人を派遣しています。

また、広島県呉市に対しても保健師による訪問活動業務のため保健師と事務職員の3人1チームを交代で5チーム、計15人を派遣しています。

いずれの市に対しても応援職員の派遣は8月31日まで続きますが、その途中経過報告も兼ねて、すでに帰庁した倉敷市への派遣職員2人と呉市への派遣職員2人が支援業務の内容や現地の被害状況、派遣を通じて感じた課題などを市長へ報告しました。

倉敷市で物資運搬及び広報業務にあたった生活福祉課主事は、「広報活動業務を通じて情報を伝える大切さ、市は非常時の対応を想定し、備えることが重要であると体感しました。」と語り、

また、呉市で保健師訪問活動を行った保健総務課主査は、「今後、越谷市が被災した際に、十分な住民サービスが行えるよう、関係機関が協力・調整しながら、体制作りをしていく必要性を感じました。」と語りました。

市長からは派遣職員に対し「今回の経験を今後の業務に生かし、越谷市が有事の際はしっかりと対応してほしい」との言葉が伝えられました。

【問い合わせ】 人事課

電話048-963-9132

